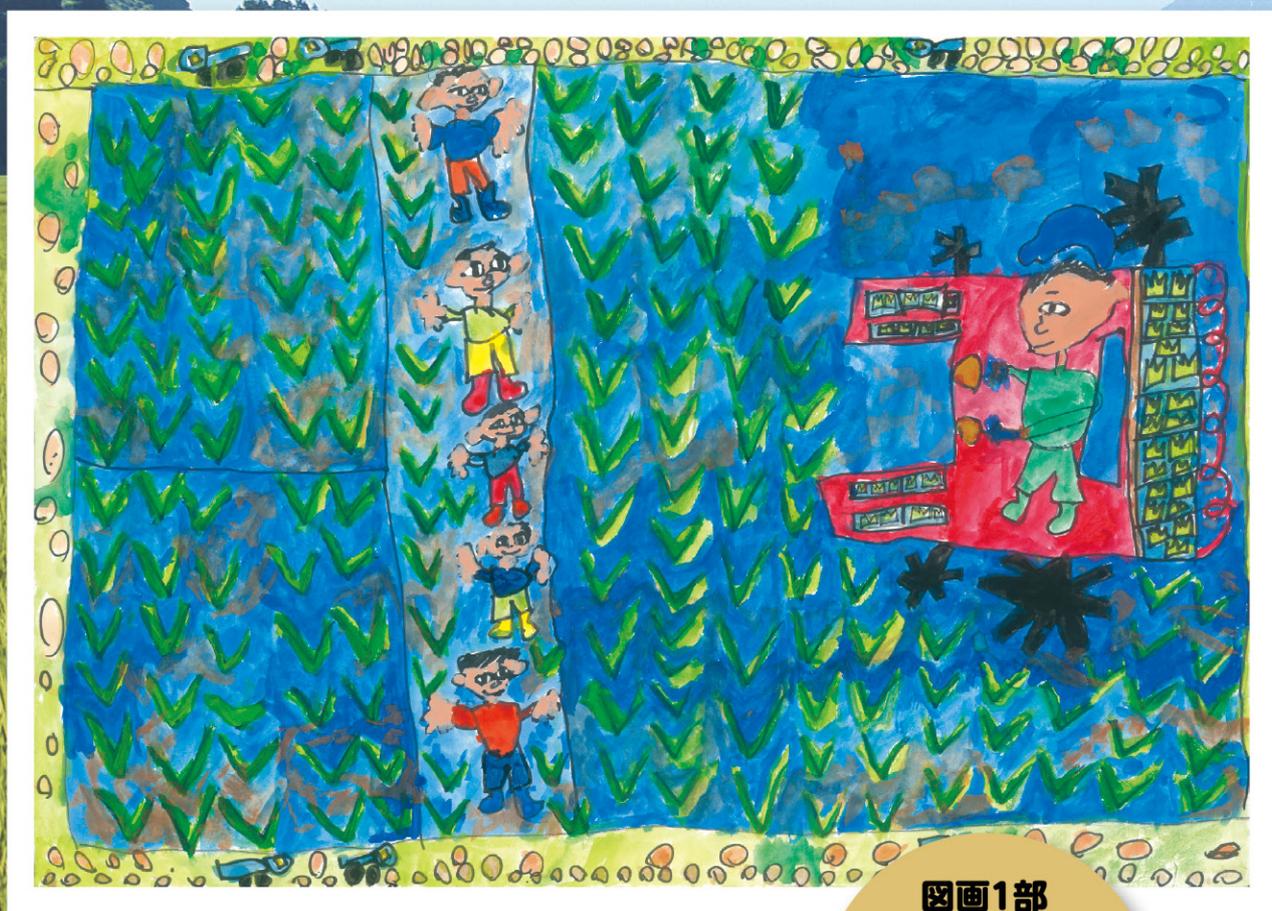


第40回

ごはん・お米とわたし

作文・図画コンクール入賞作品集



図画1部

●山形県知事賞●

「楽しい田うえ」

尾花沢市立宮沢小学校1年

熊谷 飛悠吾 さん



平成28年2月

山形県農業協同組合中央会・山形県農協農政対策本部



◆ごあいさつ

山形県農業協同組合中央会会長 長 澤 豊 1

◆第40回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール 入賞一覧 2

◆図画部門

図画1部／山形県知事賞
山形県農業協同組合中央会会長賞 3

図画2部／山形県知事賞
山形県農業協同組合中央会会長賞 4

図画3部／山形県知事賞
山形県農業協同組合中央会会長賞 5

◆作文部門

全国農業協同組合中央会会長賞 6

作文1部／山形県知事賞 7
山形県農業協同組合中央会会長賞 8

作文2部／山形県知事賞 9
山形県農業協同組合中央会会長賞 10

作文3部／全国優秀賞・山形県知事賞 12
山形県農業協同組合中央会会長賞 14

◆審査講評

作文部門審査講評 天童市立山口小学校校長 青柳由起子 16

図画部門審査講評 東根市立東根小学校校長 元木 正史 17

◆第29回～第40回 入賞一覧 18

◆審査経過の概要 20



ごあいさつ

山形県農業協同組合中央会

会長 長澤 豊

第四十回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールに応募いただいた児童・生徒の皆さんに、心からお礼申し上げます。また、入賞された皆さん、誠におめでとございます。心からお祝い申し上げます。

私たちJ Aグループは、次代を担う小・中学生の皆さんに、古くから日本の食卓と国土を育んできた農業に親しんでもらい、ごはん食がいかに優れているかを理解していただくため、昭和五十一年度からこのコンクールを実施しており、今年度で四十回目を迎えます。

今回は、県内の小・中学校から作文四六七点、図画七六八点の力作を応募いただき、全国コンクールに推薦するとともに、県コンクールにおいては、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞、優秀賞、学校奨励賞を選考いたしました。

全国コンクールでは、作文部門一部で全国農業協同組合中央会会長賞を、作文部門三部で優秀賞を受賞する成績を収めました。これもご指導いただきました学校の先生方をはじめ、ご父兄の皆様、審査委員の先生方、そして山形県ならびに各J Aのご支援・ご理解の賜物と心から感謝申し上げます。

今回応募いただいた作品は、家族と農作業の様子や、収穫し食べる喜びや笑顔をいきいきと表現したものなど、個性豊かですばらしいものばかりでした。ごはん食や農業の果たす役割の大きさやありがたさが素直に表現されておりました。心に響く作品が多く、日本人の生活とお米は、深く結びついていると改めて実感したところです。

どうか皆さん、普段何気なくごはんを食べることができている幸せを忘れないでください。お米を作る苦労や努力を感じ、感謝の気持ちを大切にしてください。そして、自然や生き物すべての命を大切にすることを、いつまでも持ち続けてください。

現在、日本は、世界中の国々と貿易を行い、食料の多くを外国

から輸入しています。食料自給率は三十九%と、先進国の中では最低の水準にあります。世界的には、人口の増加により食料が足りなくなることが心配されており、それぞれの国が食料自給率を向上させることが大事なことで考えています。

さて、貿易の自由化とともに各国の様々なルールや仕組みの統一に向け、日本を含む十二ヶ国が話し合いを進めていましたが、昨年十月に大筋合意に至り、各国で協定の発効に向けた手続きが進められております。貿易の自由化によって輸入農産物の増加し、田畑の荒廃や食料自給率低下など我が国農業に大きな影響をもたらすだけでなく、食や医療、雇用など国民生活全般にも大きな影響があります。私たちJ Aグループは、本県農業の発展と皆さんのよりよい暮らしのお役に立てるよう、引き続き運動に取り組んでまいります。

また、私たちJ Aグループは、これからの日本人にとって「よい食」とは何かを考え行動する「みんなのよい食プロジェクト」に取り組んでいます。日本人の主食である米をはじめとした日本型食生活の推進、地場産をはじめとした国産農畜産物の消費拡大、小・中学校給食における安全・安心な農畜産物の提供や食農教育の推進に向けた取り組みに、今後一層努力してまいります。

平成二十二年にデビューした「つや姫」も、今年で七年目を迎え、皆さんにとって馴染みのお米となったことと思います。「つや姫」に続いて新しいお米「ひだまり」が本格的に販売されるとともに、今後「山形112号」のデビューを予定しております。私たちJ Aグループは、これからも安全・安心でおいしいお米を皆さんにお届けしてまいりますので、応援をよろしくお願いいたします。

最後に、皆様のご協力により、当コンクールをますます発展させていただきますようお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

第40回「ごはん・お米とわたし」

作文・図画コンクール入賞一覧

(敬称略)

全国審査における入賞者

○全国農業協同組合中央会会長賞

(作文1部) 後藤 天羽 最上町立大堀小学校 1年

○全国優秀賞

(作文3部) 吉田 ゆい 米沢市立第二中学校 3年

山形県審査における入賞者

作文部門

●1部 (小1～3年)

山形県知事賞	鈴木 佑佳	山形市立滝山小学校	2年
山形県農協中央会会長賞	島腹 里玖	新庄市立萩野小学校	3年
優 秀 賞	安部 くるみ	米沢市立興譲小学校	1年
	中川 峻	南陽市立沖郷小学校	3年
	木内 春陽	東根市立大森小学校	2年
	早坂 涼太	東根市立大森小学校	3年
	川田 健太	新庄市立萩野小学校	3年

●2部 (小4～6年)

山形県知事賞	佐藤 虎太郎	真室川町立真室川あさひ小学校	6年
山形県農協中央会会長賞	伊藤 晴夏	三川町立押切小学校	5年
優 秀 賞	笠原 莉玖	新庄市立萩野小学校	4年
	小下 健太	高島町立高島小学校	5年
	田中 空來	寒河江市立柴橋小学校	6年
	佐藤 弥桜	鶴岡市立あさひ小学校	5年
	庄司 潤一郎	真室川町立真室川北部小学校	5年

●3部 (中1～3年)

山形県知事賞	吉田 ゆい	米沢市立第二中学校	3年
山形県農協中央会会長賞	山口 雅乃	鶴岡市立朝日中学校	2年
優 秀 賞	加藤 朱音	米沢市立第二中学校	1年
	新野 涼香	川西町立川西中学校	1年
	橋本 未匂	米沢市立第一中学校	3年
	高野 穂乃花	山形市立第八中学校	3年
	伊藤 寧音	山形市立第七中学校	1年

●学校奨励賞

新庄市立萩野小学校
米沢市立第二中学校

図画部門

●1部 (小1～3年)

山形県知事賞	熊谷 飛悠吾	尾花沢市立宮沢小学校	3年
山形県農協中央会会長賞	金内 大和	鶴岡市立黄金小学校	1年
優 秀 賞	石山 竜成	最上町立富沢小学校	1年
	松田 紗和	鶴岡市立大山小学校	3年
	高橋 晴	最上町立大堀小学校	3年
	星 七菜子	新庄市立萩野小学校	2年
	笠原 未羽	最上町立富沢小学校	1年

●2部 (小4～6年)

山形県知事賞	伊藤 拓磨	尾花沢市立鶴子小学校	5年
山形県農協中央会会長賞	伊藤 未希	尾花沢市立鶴子小学校	6年
優 秀 賞	柴崎 大和	尾花沢市立尾花沢小学校	6年
	齋藤 詩歩	鶴岡市立京田小学校	5年
	原田 麗	尾花沢市立宮沢小学校	5年
	大江 督羅	尾花沢市立鶴子小学校	5年
	稲村 大和	大蔵村立大蔵小学校	4年

●3部 (中1～3年)

山形県知事賞	鎌田 龍也	山辺町立山辺中学校	2年
山形県農協中央会会長賞	工藤 千慧	山形市立金井中学校	2年
優 秀 賞	田中 未咲	山形市立金井中学校	2年
	石澤 元乾	山辺町立山辺中学校	1年
	田辺 理紗	飯豊町立飯豊中学校	2年
	中島 彩	山形市立金井中学校	2年
	佐藤 龍心	鶴岡市立榎引中学校	2年

●学校奨励賞

尾花沢市立鶴子小学校
山形市立金井中学校

●山形県知事賞●

「楽しい田んぼ」

尾花沢市立宮沢小学校三年

熊谷 飛悠吾



●山形県農業協同組合中央会会長賞●

「おいしいな」

鶴岡市立黄金小学校一年

金内 大和



●山形県知事賞●

「がんばれ田植え」

尾花沢市立鶴子小学校五年

伊藤 拓磨

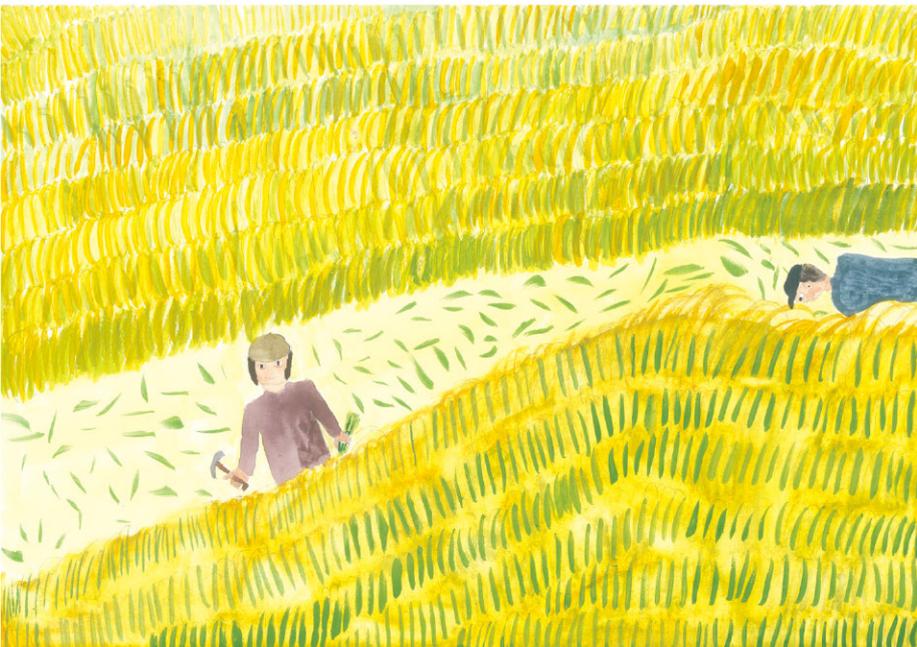


●山形県農業協同組合中央会会長賞●

「稲刈り」

尾花沢市立鶴子小学校六年

伊藤 未希

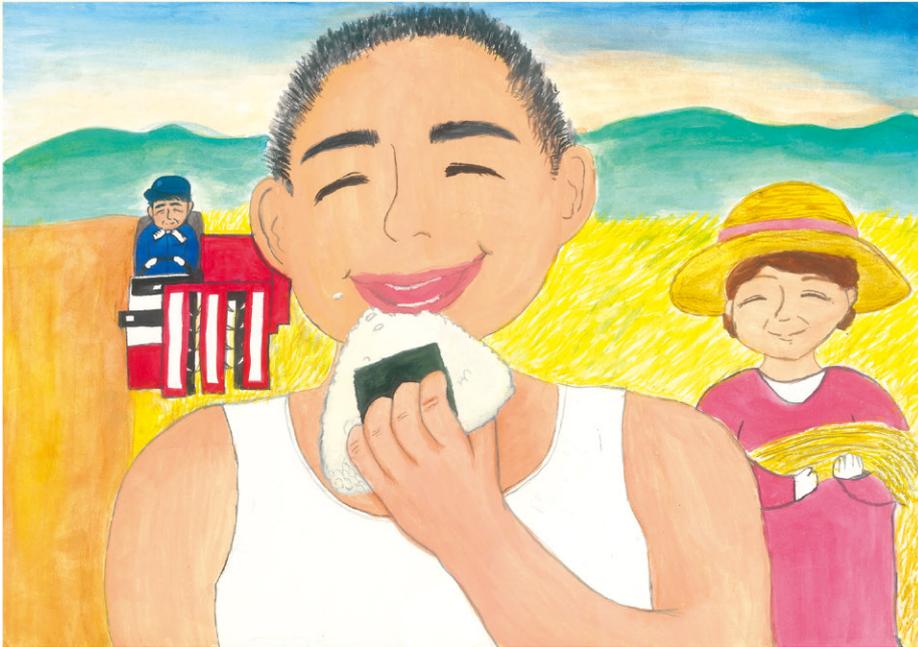


●山形県知事賞●

「お米と私」

山辺町立山辺中学校二年

鎌田 龍也



●山形県農業協同組合中央会会長賞●

「豊作祭」

山形市立金井中学校二年

工藤 千慧



作文 1部

全国農業協同組合中央会会長賞

おにぎりは ばばのあじ

最上町立大堀小学校一年

後藤 天羽

「ばばー、しおおにぎりつくってー。」

ぼくは、がっこうからかえっておなかですくと、おばあちゃんにおねがいします。

「はい、できたよー。」

と、おばあちゃんがつくってくれるおにぎりは、おおきくて、のりでくるりとまいてあって、ちようどいしよっぱきで、さいこうにおいしいです。おかあさんも、おなじようにつくってくれるけど、このしおおにぎりだけは、おばあちゃんのほうがなんばいもおいしいです。ぼくは、おにいちゃんたちと、

「なんでなんだろうね。」

と、はなしをしました。そして、三にんできづきました。

「わかった！きつと、ばばのてからおいしきのもとがにじみでてくるんだ！おかあさんのてには、まだそ

れがないんだよー！」

おばあちゃんとおかあさんに、そのはなしをしたら、おばあちゃんはとってもうれしそうでした。そして、おかあさんはすこしくやしそうにしながら、

「それだけは、やっぱりかなわなんだね。おかあさんもちいさいとき、おなじようにおばあちゃんがつくってくれたおにぎりがとってもおいしかったな。」と、はなしてくれました。そして、そんなおいしいおにぎりがたべられるのは、たんぼをたいせつにまもり、いっしょうけんめいおしごとをがんばってくれるおじいちゃんのおかげなんだということも、おしえてくれました。おなかですいたとき、おいしいおにぎりがたべられるのは、とてもしあわせなことなんだということも、八がつ六にちのせんそうがあつたひにおはなししてくれました。いろんなはなしをきいて、ぼくはとてもしあわせものなんだなあと、すごくおもいました。おにぎりは、かんしゃのあじでもあるんだとおもいました。ばば、またつくってね。

●山形県知事賞●

大すぎなやんまき作り

山形市立滝山小学校二年

鈴木 佑佳

わたしは、毎年ひいおばあちゃんが作ってくれるささまきが大きいです。そんなささまきを、今年はいいおばあちゃんから教えてもらって自分で作ることにしました。みんなにたべてもらいよることでほしかったからです。

ささまきのざいりようは、山でとってきてくれたささと一ばんうるかしたもち米とい草のひもです。ざいりようがそろったらささまきを作っていきます。さいしょは、ささをくると三角にし、その中に小さなスプーン二はいのもち米を入れます。ここで大じなことは、もち米を入れすぎないことです。ささのすきまからもち米がとびでてしまうからです。

つぎに、ささでふたをしてさらにもう一まいでふたをします。そしてい草のひもをおさえながらかけ

ていき、さい後まん中でむすびます。はじめはひもかけがむずかしくて後ろからひいおばあちゃんについてもらいやりました。「ここ作ってとうとう一人でできるようになりました。一人でむすんでできたささまきを、ひいおばあちゃんに見てもらい、「上手にできているね。」

と言われたときはうれしかったです。自分で十五こぐらい作りました。

そして一時間ぐらいゆでさましてできあがりです。できたてのささまきは、中をあけて見たらまだほんのりホカホカでつやつやしていました。さつそくきなこをかけてたべてみました。口に入れたしゅん間、もちもちふつくらでビビつとくるようなおいしさでした。

みんなにたべてもらい、「ふつくらでおいしいね。」

と言われて、本とうにうれしかったです。

来年もぜひ作りたと思います。来年は、今年作った数より作る数をふやしたいです。またみんなのえがおが見たいです。そしてみんなに作り方を教えてあげたいです。

●山形県農業協同組合中央会会長賞●

おいしいごはんをありがとう。

新庄市立萩野小学校三年

畠腹 里玖

ぼくは、ごはんが大好きです。きゅう食の時も、ごはんはさい後に食べます。おかずといっしょに食べるごはんもおいしいけど、そのままのごはんも味があつておいしいです。

ぼくのお父さんは、お米を作っています。春には田うえをして、秋にはいねかりをします。お米が出きるまで、お父さんは、毎日田んぼへ行つて水を入れたり草をかったり、お世話をしています。虫がつかないように薬もまきます。おばあちゃんといひおばあちゃんも手伝っています。

田んぼの中の草とりや、いねが元気にそだっているか毎日かくにんするのが大へんだとおばあちゃんが言っていました。

ぼくも、時々お父さんについていく事があります。その時のお父さんを見て、お米を作る事は

へんでむずかしい事が分かりました。

ひいおばあちゃんは足が痛いのに、田んぼに様子を見に行つていっしょうけんめいがんばっています。おばあちゃんも毎日天気よほうを見て、水のりようを考え、いつも気にしています。

いねかりも、とても大へんです。いねをかって、お米をかわかして、ふくろに入れてしゅつかします。お父さんは、夜中でもきかいに入れているお米の様子を見に行きます。まるで、赤ちゃんのお世話をしているみたいです。

毎日食べているごはんだけど、お米を作る事はとても大へんで、作った人が苦ろうして大切にそだてたおかげでおいしいごはんが食べられるんだなあと思いました。

お米を作るのは、大へんでむずかしい事だけど、ぼくみたいにお米を食べた人が、「ごはんがおいしい、ごはんが大好き。」

と、思つてくれたら、大へんでも苦ろうしても、お米を作つて良かったと思えると思います。

●山形県知事賞●

じいちゃん、ばあちゃんの米作り

真室川町立真室川あさひ小学校六年

佐藤 虎太郎

春。ある日、いつもなら仕事に行く祖父が、仕事を休んで何かしていた。ぼくが学校から帰って蔵をのぞくと、苗に水をやっていました。

「じいちゃん、一日苗に水やってたの。」と聞くと、答えが返ってきた。

「朝、田を耕して、昼かたから苗に少しずつ水やってだ。」

祖父は、季節毎に仕事を休んで、米作りをしている。ふだん仕事で松のせん定や重いものを持つて働くだけでも大変なのに、帰ってからも欠かさず田んぼに行つて、生長を見届けている。

気温が上がってくると、田植え。朝早い時間から丸一日かけて終わらせる。ぼくも田んぼに出て、苗をちよつと植えてみた。すると、田はどろどろでぬかるしつかれるので、ちつとも進まず大変

だった。もう十五分でギブアップ。でも、祖父と祖母は機械を使いながら、朝から夕方まで休むことなく仕事を続けていた。真剣に働く姿が、かっこよく見えた。

夏の暑さとともに、イネはぐんぐんのびた。

秋は米の収穫。二日かけて行い、二日目の昼ごろ終わる。

冬に近くなると、やつと新米が食べられる。

ぼくは、夏、秋も手伝いをしたが、どちらもすぐにやめてしまった。なぜなら大変だし、つかれるし、よごれるから。仕事をしながらいやだなあと思いつつ、頭の片すみには「がんばればおいしい米が食べられる」という気持ちがあった。

でも、祖父と祖母はちがう。祖父になぜそんなに米の仕事を続けられるのか聞くと、

「それはなあ、虎太郎、雫、陽そして家族がおいしい米を食べてくれると思えば、米の仕事なんて、なーんにもつかれね。」

と言っていた。家族がおいしく米を食べる、それが祖父のエネルギーになつて知っていることを知った。じいちゃんとはあちゃんが一生けん命育てた米は、安心、安全、そして愛情がつまったお米だ。だ

から、かめばかむほどおいしさがあふれでるようだ。

ぼくは、これからも米作りを手伝うだろう。将来いい仕事について働いて、退職してからも、佐藤家で受け継がれてきた米作りをしたい。そして、自分の子にも伝え、米の伝統をいつまでも受け継ぎたいと思う。

学校で、全国で米の消費量が減っていることを知りおどろいた。ぼくたちにとって朝はご飯が当たり前だし、みんな地元のおいしい米を誇りに思っている。だから、全国に向けておいしい米をPRしたらいいと思う。また、米を使った料理をネット上にアップして、消費を拡大する取り組みも考えられる。

それ以上に大事だと思うのは、自分の家の米をたくさん食べて大きくなるということだ。そして、大人になって社会に出て、米のおいしさや素晴らしいさを全国の人々に伝えれば、米の消費量を増やせるのではないかと思う。

●山形県農業協同組合中央会会長賞●

家族の食卓

三川町立押切小学校五年

伊藤 晴夏

私のお姉ちゃんは、大学生で、秋田大学に通っています。秋田に一人ぐらししているので、年に数回しか帰ってきません。そんなお姉ちゃんが、この夏休みに帰ってきました。久しぶりの家族七人のご飯。なんだかいつもよりおいしく感じました。それはどうしてなのでしょう。

「お姉ちゃん、今日晴夏のたん生日だよ！」

「そうだね。おめでとう！」

お姉ちゃんがいるだけで、ふだんの会話もはずみます。

ふだんの会話でも、お出かけの時でも、お風呂の時だって、お姉ちゃんがいる方が楽しく感じました。

お姉ちゃんとはふだん全然会っていないくて

メールや電話などでたまに会話している程度です。

お姉ちゃんが秋田に一人ぐらしするようになってから、これまで家族七人でご飯を食べていたのが一年に数回になってしまいました。これまで「当たり前」だった家族七人での食事があまり「当たり前」ではなくなっていました。ご飯を六人で食べていても、会話ははずむというのに、どこか物足りなさを感じる時があったりして、なんだか変な気持ちになったりする時もありました。

やっぱり家族七人全員集合が一番いいな。とたくさん思うようになりました。

私のお兄ちゃんは高校三年生で、来年にはいなくなり、家族全員での食事はまた少なくなります。家族全員が集まる機会も減って、家族七人の食事が「当たり前」じゃなくなり、家族六人の食事も「当たり前」じゃなくなり、きつと、家族五人での食事が「当たり前」になって行くのでしょうか。

なので、家族全員、大人数での食事をする機会を大切にしていきたいです。

私は、ご飯には家族全員を仲良くさせる力があると思います。理由は、お姉ちゃんが来ると、いくらではなれていたとしても会話が続き、なにより家族と一緒にいる時間が楽しいからです。楽しい食事の時間があるからこそ、はなれていても家族はつながっているから、さだと思えます。

また私には、家族以外にも、家族と同じくらい仲良しで、お盆やクリスマスなどには、全員集合するいとこ家族がいます。全員合わせると十一人もいます。みんな集まった日は会話もはずむし、なによりご飯の楽しさや美味しさが二倍になります。

きつと、全員で食卓を囲むことがもつと減ってしまうのは正直さみしいけれども、それは仕方ないことだと思うので、その分、家族全員で食べれる食事を大切にしていきたいです。

私は、家族全員で食べる食事はとても楽しいと思うし、家族全員で食べる食事がとても大好きです。

●全国優秀賞・山形県知事賞●

お米と戦争

米沢市立第二中学校三年

吉田 ゆい

私の祖父は、麦ごはんや雑穀米が嫌いです。今から七十年前、祖父は十八歳でした。学校にも行くことができず朝から晩まで軍事工場に働いていたそうです。麦ごはんなどを見ると戦争のことを思いだし、つらい気持ちになるそうです。私は麦ごはんや雑穀米が大好きで良く食べていますが、祖父がこのような思いを抱いていたことは知りませんでした。

今年太平洋戦争が終り七十年。新聞やテレビでは戦争の悲惨さや敗戦後の日本の歩みを集めていました。先日読んだ新聞には次のような記事がありました。「陸海軍合わせ二百四十万人の戦死者のうち、七割が餓死か栄養失調か、それに伴う病死でした。」この記事を読んだ時、とても無念な気持ちになりました。

た。私は一番このような事はあつてはならないと思います。家族のためには勝利しかないといい、離れ離れになり、無我夢中になつて戦つていたのに食料が不足し餓死する。食料があれば生きて帰つて来れるはずの多くの人の命が次々と失われてしまったのです。しかしそれは戦場だけとは限りませんでした。学校の授業で「火垂るの墓」を見ました。節子と清太は戦争で両親を亡くして二人で暮らすことになりましたが、米や芋が配給制になつたり、お金が足りなくなり二人とも栄養失調で亡くなりました。実際に日本中の人々が栄養失調で何万人も亡くなつたとのことでした。

私たちは昔の祖父とは違い、白いごはんを毎日三食、あたりまえのように食べています。そのあたりまえにできることが、どんなに幸せな事なのか痛感しました。

学校の体育館に行く途中の廊下に、写真が展示されていて、その中の黒こげになつたお弁当箱がとても気になり、記憶に残りました。後日調べてみると、それは広島平和記念資料館に展示されている折免滋君のお弁当でした。

た。彼は爆心地から約六百メートルの所で被爆しました。弁当には、自分で育てた作物で作ったおかずと大豆ごはんが入っていて、そのお弁当を大切に胸に抱えて亡くなっていたそうです。お弁当を作ってくれたお母さんの気持ちや、それを食べるのをとても楽しみにしていた滋君の気持ちを考えると、悲しさとともに怒りが込み上がってきます。家族の日常が一瞬で消えてしまう戦争の恐ろしさ、悲惨さ、残酷さ、二度とあってはいけないことです。

私の祖父にとって白いごはんは、平和の象徴なのです。つらい体験をした祖父の気持ちを忘れないで後世に伝えることが私の使命だと思いました。

白いごはんや好きなものを、好きなだけ食べられる平和で豊かな現在の日本に生まれてきたことに心から感謝し、今後、絶対戦争がおこらないように、私たちが努力していかなければならないと考えました。

もう一つ大切にしたいものがあります。そ

れは自然豊かな日本の食、和食です。和食は平成二十五年十二月四日にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

和食が世界に認められた理由は、多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重、健康的な食生活を支える栄養バランス、自然の美しさや季節の移ろいの表現、正月などの年中行事との密接な関わりなどからです。

日本にはその土地その土地の歴史や風土から工夫され生まれた様々なおいしいものが沢山あります。しかし残念なことに最近そのような食や行事が家庭から徐々に減っている気がします。お正月、ひな祭り、七夕、十五夜、冬至、それらの伝統的な食をしっかりと守り、次の世代へ、また百年後、二百年後の未来へと魅力を伝えていくのも、私たちが日本人の大事な使命なのではないでしょうか。

●山形県農業協同組合中央会会長賞●

お米と伝統

鶴岡市立朝日中学校二年

山口 雅乃

私は、広報「つるおか」七月号に釘づけになりました。それは、母の机の上に置かれていました。昨年十二月一日に鶴岡市が、日本で初めてユネスコ創造都市ネットワーク食文化分野認定都市になり、世界が認めた鶴岡の食文化の特集が載っているではありませんか。その白黒写真のお膳の中で特に目を引いたのは、お茶碗にさくつと盛られた真っ白なご飯でした。鶴岡には、だだちや豆や温海かぶのような在来作物が、五十種類も継承されているそうです。どれも、真っ白いご飯に合う食材です。というか、ご飯が、それらの食材を引き立てているのかもしれない。

私は、小学一年生の頃から、母の朝食用のおにぎりを作ってきました。山菜菌茸栽培をし

ている母の朝は忙しく、収穫してきた山菜をできるだけ早く選別し出荷しなければならなかったため、母の朝食はいつも倉庫で食べるおにぎり定食です。小学生の頃は、母の喜ぶ顔が見たくて、おにぎりの具をあれこれアレンジしたこともありましたが、最近では、心のこもったおにぎりを握っていないような気がします。そして、それは、お米を作っている方々の苦労や努力についても、目をそらしていることと同じように思います。なぜかというところ、お米はあまりにも身近すぎて、食べるのが当たり前のような感覚だからです。

けれど、鶴岡市がユネスコ創造都市ネットワーク食文化分野認定都市になったことで、この機会に私は、お米について考えてみようと思いました。

庄内平野は日本を代表する稲作地帯です。おいしいお米作りをめざし、品種改良を重ね、生産者の工夫と努力によって、良質のお米を生産してきました。母の知り合いにも、有機米にこだわり、甘いお米作りに挑戦している方がいます。農薬や化学肥料を使わないで鴨を

田んぼで飼ってみたり、草むしりの手間は半端ではないそうです。そして、その苦労はいつも成功する訳ではなく、天候に左右されたり、時には失敗に終わることもあるそうです。農法が異なることで、地域の人から変わり者呼ばわりされたこともあったと聞きました。けれど、人から何と言われようと、美味しいお米を作りたいたいという情熱に突き動かされて日夜、頑張っているということです。すごいとか言いようがありません。

私は、この時期の青々とした田園風景が好きです。時折臭う消毒の香も、まあまあ許せませす。あぜ道の草を刈る草刈り機の音も好きです。そして、もう少し季節が進み、黄金色になった稲穂が頭を垂れた頃、コンバインで刈られる稲刈りの臭いも好きです。たぶん、生涯、心の風景として残っていくように思います。

私は、こういう地域で生まれ育ったことを誇りに思っています。将来、自分がお米作りに従事する予定はありませんが、私は、生産者が

どんな気持ちでお米を作っているか、その辛苦に目を向けて、大切にお米をいただける人になりたいと思います。そして、食文化創造都市認定を機に、家庭の中でもっと台所に立つ機会を増やし、お米に合う朝日の伝統食を習ってみたいと思います。



天童市立山口小学校校長

青柳 由起子

第四十回「ごはん・お米とわたし」作文コンクールには、県内小・中学校七二校から四六七点の作品が寄せられました。総合的な学習の時間で稲作体験を題材にしているもの、米を通して家族とのかかわりが見えてくるもの、戦後七〇年などの節目の時節を捉えたものなど、読み応えがあり、ごはんやお米に対する気づきや考えが伝わるものが多くありました。

それらの作品の中から、全国審査において、最上町立大堀小学校二年・後藤天羽さんが全国農業協同組合中央会会長賞に輝き、米沢市立第二中学校三年・吉田ゆいさんが優秀賞を受賞されました。

また、県審査においては、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞、県優秀賞、県学校奨励賞の各賞を選考しました。ここでは、県知事賞、県農業協同組合中央会会長賞を受賞された皆さんの作品を紹介します。

受賞されたみなさん、真におめでとうございます。

一部(小学校一年生から三年生)

○「大すぎなささまき作り」

(山形市立滝山小学校二年・鈴木佑佳・山形県知事賞)

みんなに喜んでもらいたいという素直な願いからスタートしたささまき作り。その行程を順序よく丁寧に書いています。よく話を聞いて気をつけるところに注意して作っている様子や、難しいところを手伝うひいおばあさんのうれしそうな様子が目に浮かんできます。できたてのささまきのおいしそうな情景が様々な言葉を用いて巧みに表現され、日本の伝統的な米文化の継承を伝えてくれる作品です。

○「おいしいごはんをありがとう」

(新庄市立萩野小学校三年・畠腹里玖・山形県農業協同組合中央会会長賞)

中心になって夜中までも毎日働くお父さん、水の量や稲の育ちをいつも気にしているおばあさんやひいおばあさんを、間近によく見ているからこそわかる米作りの苦労が素直に表現されています。「赤ちゃんのお世話をしてみたいに」大切にお米を育て上げているんですね。自分の家族が行っている米作りを誇らしく尊く思う筆者の心がにじみ出ている作品です。

二部(小学校四年生から六年生)

○「じいちゃん、ばあちゃんの米作り」

(真室川町立真室川あさひ小学校六年・佐藤虎太郎・山形県知事賞)

家族においしくお米を食べてもらうことが祖父にとつての仕事のエネルギーになっていて、しつかり受け止め、佐藤家の米作りの伝統をいつまでも受け継いでいきたいという篤い思いが伝わってくる作品です。安心、安全、愛情が詰まったおいしいお米に誇りをもっているということがよくわかります。

○「家族の食卓」

(三川町立押切小学校五年・伊藤晴夏・山形県農業協同組合中央会会長賞)

家族全員で食事をしていて、頃を思い出すことでみてきた「当たり前」の素晴らしさ。揃って食事をとることで楽しさもおいしさも倍増することに気づき、「ごはんには家族を仲良くさせる力がある」と述べています。食事は体だけではなく、家族をつないで心の栄養になっていることがよくわかる作品です。

三部(中学生)

○「お米と戦争」

(米沢市立第二中学校三年・吉田ゆい・山形県知事賞・全国優秀賞)

戦争で食糧不足を経験し、麦ごはんを見るとつらい気持ちになるという祖父の話を通して、筆者は映画「火垂るの墓」や、広島原爆での黒焦げの「弁当」を見てきたまじまじなことを考えます。祖父にとつて白いごはんとは何か。それは、「平和の象徴」であるという答えに至ります。「和食」が無形文化遺産になったことなども含め、ごはんに対する筆者自身の考え方が確立していく様子がわかる作品です。

○「お米と伝統」

(鶴岡市立朝日中学校二年・山口雅乃・山形県農業協同組合中央会会長賞)

筆者は、小学校一年生から朝仕事を母のためにおにぎりを作ってきました。しかしこの頃心を込めて握ってない自分を反省し、鶴岡市がユネスコ創造都市ネットワーク食分野認定都市になったことを機にお米について考えをめぐらせます。庄内平野の田園風景に思いを馳せ、おいしいお米を作りたいという情熱を持った生産者の話に触れて、大切にお米をいただく人になりたいと結んでいます。

県学校奨励賞

○新庄市立萩野小学校

○米沢市立第二中学校

東根市立東根小学校校長 元木 正史

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールは、歴史を重ね第四十回を迎えました。今年度の図画部門には、県内九十九校から七六八点の作品の応募がありました。

みなさんの家の周りや通学路には見事な田んぼが広がっています。そして、ごはん・お米は、私たちが生きるうえで、なくてはならないものです。でも、身近すぎて、普段見過ごしてしまいがちです。みなさんから寄せられた作品には、そんなごはんやお米とのかかわりを改めて見つめ、感じたことや考えたことを思い思いに、そして豊かに表現されていました。

その中から、県審査では、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞、県優秀賞、県学校奨励賞の選考を行いました。各賞を受賞されたみなさんの作品を紹介します。

一部(小学校一年生から三年生)

○「楽しい田うえ」

(尾花沢市立宮沢小学校三年・熊谷飛悠吾さん・山形県知事賞)

楽しい田植えの様子が画面から伝わってきます。田植え機を使うと作業が一気に進むことに驚き、かつこよきにあこがれをもったのでしようか、機械の様子を細かいところまでかいています。苗の色や水の感じを出そうと色を重ねて工夫しています。鮮やかな色づかいで、生き生きとした生命感があふれる作品となっています。

○「おいしいな」

(鶴岡市立黄金小学校一年・金内大和さん・山形県農業協同組合中央会会長賞)

持ちきれないほどのおにぎりを二つ、大きくかきました。お米の一つぶ一つぶがおいしそうに輝いています。中身は梅干しです。二つのうちどちらを先に食べたのか気になります。おにぎりを囲むように、広げた両手が大きくかかれ、おにぎりが大好きなことがよく伝わってくる作品です。

二部(小学校四年生から六年生)

○「がんばれ田植え」

(尾花沢市立鶴子小学校五年・伊藤拓磨さん・山形県知事賞)

広い田んぼに一生懸命手植えで田植えをしている様子を、丁寧にかき表しています。山間の田んぼでしょうか、すがすがしい空気と清らかな水が、水加減を工夫し、水彩絵の具で美しく表現されています。絵からさわやかな五月の風が吹いてきます。

○「稲刈り」

(尾花沢市立鶴子小学校六年・伊藤未希さん・山形県農業協同組合中央会会長賞)

豊かに実った黄金色の稲の一本一本を、いとおしむようにいていねいにかき上げました。秋の陽に輝く稲穂と刈ったあとの様子を、大胆な構図で表現し、印象的です。ザクツザクツと稲を刈る音が聞こえてくるようです。

三部(中学生)

○「お米と私」

(山辺町立山辺中学校二年・鎌田龍也さん・山形県知事賞)

おじいちゃん、おばあちゃんたちが一生懸命に育ててきたお米を、いよいよ収穫する時がきました。黄金色に光る稲をバックに、おにぎりを食べる自分を重ねました。手伝ったあとの爽快感や喜び、そして、おにぎりの「んまい」様子が人物の表情から伝わってきます。

○「豊作祭」

(山形市立金井中学校二年・工藤千慧さん・山形県農業協同組合中央会会長賞)

広大な田んぼを背景に、大きな口を開けて笑う家族の表情が、収穫の喜びと、これまでの苦労が報われる安堵感を表しています。やわらかい色づかいと、遠近感を生かした背景が、笑顔を一層引き立てています。

県学校奨励賞

今年度の県学校奨励賞は、尾花沢市立鶴子小学校と山形市立金井中学校が受賞しました。おめでとーございます。

これからも、私たちにとってなくてはならないごはんやお米、「食」や「農」のことを、友達や家族とみんなですっかり考えていきましょう。そして、自分の思いを、ありのままに絵に表してください。

来年も、みなさんの素敵な作品と出会えることを楽しみにしています。

第34回	第33回	第32回	第31回	第30回	第29回
<p>山形県</p> <p>●県知事賞 伊藤南奈美(鶴岡市) 難波 葵(鶴岡市) 平山 美紀(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 今野 杏唯(鶴岡市) 菅 瑞季(最上町) 白石みおり(米沢市)</p> <p>●優秀賞 原田 真白(米沢市) 會田 空翔(山形市) 押切 真依(最上町) 後藤 大空(米沢市) 押野 明純(鶴岡市) 高橋 歩美(高島町) 阿部 杏香(鶴岡市) 安部 航大(高島町) 近藤 舞(鶴岡市) 山下 純平(最上町) 遠藤 ゆい(鶴岡市) 渡部 加菜(米沢市) 高橋 奏(米沢市) 山口 大智(南陽市) 我妻 隆羅(米沢市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 鶴岡市立朝日中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 押野 明純(鶴岡市) 鈴木 彩(鶴岡市) 有賀この美(鶴岡市)</p> <p>●県中央会会長賞 會田 空翔(山形市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 我妻 隆羅(米沢市)</p> <p>●優秀賞 鈴木 彩(鶴岡市) 井上 秀香(真室川町) 山口 まの(鶴岡市) 伊藤南奈美(鶴岡市) 渡部 寿彦(鶴岡市) 黒井 紀香(鶴岡市) 瀨川 隼矢(庄内町) 金野 華奈(鶴岡市) 保科 拓也(鶴岡市) 尾形 有生(米沢市) 進藤小百合(米沢市) 小野寺奈々(鶴岡市) 安達 景都(鶴岡市) 小野寺千尋(鶴岡市) 小野寺陽奈(鶴岡市) 佐藤 理奈(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立斎小中学校 鶴岡市立朝日中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 瀨川 隼矢(庄内町) 河野 美波(鶴岡市) 佐藤 楓(鶴岡市)</p> <p>●県中央会会長賞 後藤 怜(最上町) 上野 艦(鶴岡市) 山口 和華(天童市)</p> <p>●優秀賞 渡部 寿彦(鶴岡市) 笠原妃奈乃(最上町) 伊藤南奈美(鶴岡市) 結城 諒(最上町) 佐藤麻捺夏(鶴岡市) 五十嵐春奈(最上町) 阿部紗世子(最上町) 菅 風沙(最上町) 引地加奈恵(最上町) 齋藤 央奈(山形市) 櫻井 祥太(山形市) 山口 愛実(南陽市) 久保 朝香(米沢市) 橋本明香里(山形市) 伊藤 香理(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立向町小学校 鶴岡市立第五中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 原田 咲雪(米沢市) 大池 清土(米沢市) 大道寺 滯(米沢市)</p> <p>●県中央会会長賞 佐藤 悠汰(鶴岡市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 榎本江里加(鶴岡市)</p> <p>●優秀賞 伊藤 裕太(鶴岡市) 鈴木 彩(鶴岡市) 宮崎 俊也(鶴岡市) 情野 雪海(高島町) 金野 華奈(鶴岡市) 渡部 実佳(最上町) 小野寺千尋(鶴岡市) 沖田 竜馬(米沢市) 有賀この美(鶴岡市) 遠藤 拓実(庄内町) 渡部 香菜(鶴岡市) 尾形 祐佳(鶴岡市) 橋本 美月(米沢市) 那須友賀子(山形市) 後藤 萌(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 米沢市立第一中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 阿部拓悠真(庄内町) 治部あかね(東根市) 齋藤 那千(鶴岡市)</p> <p>●県中央会会長賞 後藤 剛(高島町) 渡部 愛(米沢市) 佐藤 麻衣(山形市)</p> <p>●優秀賞 渡部 由夢(高島町) 阿部 理沙(鶴岡市) 高橋 恵美(最上町) 阿部 貴之(鶴岡市) 斎藤 蓮奈(鶴岡市) 佐藤 彩絵(鶴岡市) 菅野明日香(高島町) 小林 桜子(山形市) 有賀この美(鶴岡市) 佐藤 誠(庄内町) 山口 真盛(鶴岡市) 川田美沙樹(山形市) 今野 若奈(鶴岡市) 榎本有紀子(鶴岡市) 富樫 美穂(南陽市)</p> <p>●学校奨励賞 庄内町立余目第二小学校 鶴岡市立朝日中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 酒井 惇(天童市) 渡部 千尋(朝日村) 長谷川 渚(鶴岡市)</p> <p>●県中央会会長賞 伊藤 浩司(朝日村) 石山 芽生(最上町) 大湊 希(米沢市)</p> <p>●優秀賞 阿部 貴之(柳引町) 齋藤 玲奈(羽黒町) 阿部 咲輝(朝日村) 佐藤 緑(山形市) 鈴木菜都美(大石町) 上野由香里(朝日村) 難波 和香(朝日村) 山木 理央(高島町) 香澤 真佑(最上町) 橋本 大来(最上町) 大浦 沙盛(鶴岡市) 齋藤 那千(朝日村) 御橋夏津子(鶴岡市) 武田 奈緒(鶴岡市) 清野 郁(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 鶴岡市立鶴岡第三中学校</p>
<p>全国</p> <p>●農林水産大臣賞 齋藤 隼也(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立西郷小学校</p> <p>●優秀賞 白石みおり(米沢市) 平山 美紀(山形市)</p>	<p>全国</p> <p>●優秀賞 鈴木 彩(鶴岡市)</p>	<p>全国</p> <p>●文部科学大臣賞 金野 華奈(鶴岡市)</p> <p>●全国中央会会長賞 高橋 理久(村山市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立羽黒第三小学校</p> <p>●優秀賞 佐藤 楓(鶴岡市)</p>	<p>全国</p> <p>●優秀賞 大池 清土(米沢市) 大道寺 滯(米沢市)</p>	<p>全国</p> <p>●内閣総理大臣賞 伊藤 浩司(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校</p> <p>●優秀賞 治部あかね(東根市) 齋藤 那千(鶴岡市)</p>	<p>全国</p> <p>●優秀賞 酒井 惇(天童市) 渡部 千尋(朝日村) 長谷川 渚(鶴岡市)</p>
<p>山形県</p> <p>●県知事賞 丹波 優大(尾花沢市) 森谷 康平(山形市) 鈴木 智佳(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 菅 佑菜(最上町) 小幡 剛(尾花沢市) 武田可奈子(山形市)</p> <p>●優秀賞 伊藤日向子(鶴岡市) 廣瀬 佳那(尾花沢市) 平井 堅太(高島町) 宮崎 泰成(鶴岡市) 西尾 文佳(尾花沢市) 海谷 有美(高島町) 佐賀井千里(鶴岡市) 高橋 捷(尾花沢市) 今野杏有子(三川町) 前田 和哉(鶴岡市) 荒井瑛絵(山形市) 田中 敦子(山形市) 阿部 浩宣(山形市) 岸 由麻(山形市) 三浦 彩希(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校 山形市立第九中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 阿部 篤(尾花沢市) 會田 次郎(山形市) 武田可奈子(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 菅野 颯(尾花沢市) 押野 尚道(鶴岡市) 岡部 咲(酒田市)</p> <p>●優秀賞 島津 諒(高島町) 加藤 翔龍(尾花沢市) 佐藤 愛竜(尾花沢市) 藤井美名保(尾花沢市) 佐藤 崇人(鶴岡市) 伊藤 陸(天童市) 今野杏有子(三川町) 藤田 麗(鶴岡市) 井上 和也(尾花沢市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 佐藤 緑(山形市) 渡邊 千咲(山形市) 上林 穂末(山形市) 鈴木 里奈(山形市) 加地 明里(米沢市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立明德小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 佐藤 永一(尾花沢市) 花山 伶奈(寒河江市) 堀野 佑衣(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 森谷 康平(山形市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 垂石 杏(山形市)</p> <p>●優秀賞 三澤 悠花(尾花沢市) 鈴木 芹奈(鶴岡市) 本間 智広(尾花沢市) 押野 尚道(鶴岡市) 吉田 周平(尾花沢市) 森 謙太(尾花沢市) 原田 紘(高島町) 菅野 静香(尾花沢市) 香澤 佑樹(山形市) 丸田 駿平(尾花沢市) 羽角 栗(山形市) 島津 桃子(米沢市) 石井 志織(山形市) 橋本明香里(山形市) 中村 実那(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 寒河江市立醍醐小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 會田 三郎(山形市) 今野美季子(三川町) 齋藤 里沙(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 押野 尚道(鶴岡市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 玉虫 正和(米沢市)</p> <p>●優秀賞 佐藤 俊貴(鶴岡市) 高橋 翔太(高島町) 小黒 拓真(高島町) 長谷川 舞(鶴岡市) 佐藤 琳(尾花沢市) 東海林 道(尾花沢市) 上林 晃(鶴岡市) 森谷 麻衣(山形市) 佐藤 瑞貴(鶴岡市) 西塚 祐斗(尾花沢市) 長岡 佑佳(山形市) 大木 拓也(米沢市) 石川紗己子(米沢市) 佐藤 広康(山形市) 志田 優花(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立福原中部小学校 米沢市立第六中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 會田 次郎(山形市) 小野寺百茄(鶴岡市) 日下部仁美(米沢市)</p> <p>●県中央会会長賞 大類 海斗(尾花沢市) 浜田ひかり(南陽市) 木村 友美(山形市)</p> <p>●優秀賞 星川 瑞生(山形市) 石山 詩穂(尾花沢市) 新田 尚太(山形市) 笹原浩太郎(尾花沢市) 佐藤つぐみ(鶴岡市) 加賀 東杜(大石町) 溝越 舞子(尾花沢市) 藤谷 睦姫(鶴岡市) 鈴木 潤(尾花沢市) 有路 杏子(尾花沢市) 長岡 佑佳(山形市) 遠藤 瑞紀(山形市) 伊藤 茜(山形市) 神田 涼真(米沢市) 佐藤 勇太(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立高橋小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 佐藤 瑞貴(鶴岡市) 折原 菜純(尾花沢市) 高島 絵理(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 笠原 鍊(最上町) 難波 沙英(朝日村) 小野紗由季(山形市)</p> <p>●優秀賞 東海林梨奈(尾花沢市) 倉金 卓美(尾花沢市) 柴蒼 日向(尾花沢市) 原田 桃香(尾花沢市) 阿部 風子(尾花沢市) 西尾 昂太(尾花沢市) 荘司 留加(尾花沢市) 齋藤 千佳(朝日村) 七森 結花(朝日村) 佐藤 光(温海町) 古関 彰(山形市) 花等 雄太(山形市) 小玉 愛(上市市) 古川 千夏(山形市) 板垣 友也(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 山形市立金井中学校</p>
<p>全国</p> <p>●農林水産大臣賞 會田 三郎(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立南小学校</p> <p>●優秀賞 鈴木 智佳(山形市)</p>	<p>全国</p> <p>●内閣総理大臣賞 粟野 梨恵(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立第九中学校</p> <p>●優秀賞 會田 次郎(山形市)</p>	<p>全国</p> <p>●農林水産大臣賞 會田 次郎(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立南小学校</p> <p>●優秀賞 花山 伶奈(寒河江市) 堀野 佑衣(山形市)</p>	<p>全国</p> <p>●農林水産大臣賞 須藤 萌(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立第九中学校</p> <p>●優秀賞 會田 三郎(山形市) 今野美季子(三川町) 小野寺百茄(鶴岡市)</p>	<p>全国</p> <p>●内閣総理大臣賞 三浦 潤平(山形市)</p> <p>●全国中央会会長賞 今野 桃子(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立第九中学校</p> <p>●優秀賞 會田 次郎(山形市)</p>	<p>全国</p> <p>●優秀賞 佐藤 瑞貴(鶴岡市) 折原 菜純(尾花沢市) 高島 絵理(山形市)</p>

第40回	第39回	第38回	第37回	第36回	第35回
<p>山形県 ●県知事賞 鈴木 佑佳(山形市) 佐藤虎太郎(真室川町) 吉田 ゆい(米沢市) ●県中央会会長賞 昌腹 里玖(新庄市) 伊藤 晴夏(三川町) 山口 雅乃(鶴岡市) ●優秀賞 安部くるみ(米沢市) 中川 峻(南陽市) 木内 春陽(東根市) 早坂 涼太(東根市) 川田 健太(新庄市) 笠原 莉玖(新庄市) 小下 健太(高畠町) 田中 空来(寒河江市) 佐藤 弥桜(鶴岡市) 庄司潤一郎(真室川町) 加藤 朱音(米沢市) 新野 涼香(川西町) 橋本 未旬(米沢市) 高野穂乃花(山形市) 伊藤 寧音(山形市) ●学校奨励賞 新庄市立萩野小学校 米沢市立第二中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 門脇 陽希(大蔵村) 後藤 芽衣(河北町) 森村 春輝(山形市) ●県中央会会長賞 軽部 翔真(寒河江市) 青木 爽央(新庄市) 留守めぐみ(米沢市) ●優秀賞 後藤 天星(最上町) 早坂 颯真(東根市) 加藤 響(大蔵村) 後藤 有瑠(高畠町) 伊藤准輝亜(高畠町) 小澤 爽太(白鷹町) 五十嵐広大(鶴岡市) 丸山 美優(鶴岡市) 打田ゆらら(白鷹町) 荒木 怜(最上町) 八巻 怜花(米沢市) 山口 雅乃(鶴岡市) 今野 佑香(米沢市) 渋江 初菜(山形市) 井上 砂城(鶴岡市) ●学校奨励賞 大蔵村立大蔵小学校 山形市立第三中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 佐々木美羅(米沢市) 高橋満里奈(新庄市) 小野寺涼太(鶴岡市) ●県中央会会長賞 阿部 聖音(酒田市) 佐藤 礼夢(鶴岡市) 安部 優香(米沢市) ●優秀賞 上林 奈央(鶴岡市) 津藤 奏(山形市) 小野幸治郎(大蔵村) 早坂 大翔(大蔵村) 安部 真桜(米沢市) 田村 健人(米沢市) 諏訪 琳音(鶴岡市) 大滝 星矢(鶴岡市) 佐藤 陽理(南陽市) 伊藤 日高(鶴岡市) 伊藤 優太(山形市) 鈴木 千絵(南陽市) 高橋真惟子(南陽市) 石原 花凜(飯豊町) 清和 怜真(鶴岡市) ●学校奨励賞 大蔵村立大蔵小学校 鶴岡市立朝日中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 伊藤 風牙(鶴岡市) 井上 瑞貴(山形市) 松藻 大吾(米沢市) ●県中央会会長賞 佐竹 巧(山形市) 笹本 悠奈(庄内町) 我妻隆太郎(米沢市) ●優秀賞 早坂 大翔(大蔵村) 朝倉 愛子(南陽市) 丸山 美優(鶴岡市) 渋谷 結(鶴岡市) 佐藤 光(鶴岡市) 池田 結(庄内町) 會田 空翔(山形市) 森 優奈(米沢市) 佐藤みのり(庄内町) 齋藤 結月(鶴岡市) 須貝 麗夢(米沢市) 小野寺拓海(鶴岡市) 高内 滯奈(山形市) 井上 れな(鶴岡市) 遠藤 美月(鶴岡市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 米沢市立第四中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 五十嵐まりあ(山形市) 土門 匠(天童市) 早川 舞乃(山形市) ●県中央会会長賞 大滝 楓人(鶴岡市) 伊藤 琉圭(鶴岡市) 阿部 咲輝(鶴岡市) ●優秀賞 森 壮汰(村山市) 安達 涼乃(大石田町) 阿部 夢叶(最上町) 横山 陽音(米沢市) 大滝 星矢(鶴岡市) 細矢 愛結(山形市) 矢萩 優生(村山市) 曾根 匠人(米沢市) 佐藤 亜美(鶴岡市) 渡部さくら(鶴岡市) 太田 里美(米沢市) 渡部 羅夢(鶴岡市) 森谷 咲耶(東根市) 舟山 愛理(米沢市) 中村梨志子(山形市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日大泉小学校 鶴岡市立朝日中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 寺崎亜寿美(大石田町) 工藤 嶋晃(庄内町) 小野 茜(朝日町) ●県中央会会長賞 佐藤 流偉(鶴岡市) 菅原彩花里(鶴岡市) 菅井 滯(朝日町) ●優秀賞 後藤 美空(米沢市) 菅原 菜央(鶴岡市) 鈴木 駿佑(大石田町) 會田 空翔(山形市) 鈴木 花凜(米沢市) 伊藤南奈美(鶴岡市) 長沼龍之介(高畠町) 斎藤 健(真室川町) 齋藤 元希(大石田町) 小林 一樹(寒河江市) 井上 玲(米沢市) 大橋 鏡郎(米沢市) 坂野 涼子(米沢市) 江部ひふみ(米沢市) 香澤 佑樹(山形市) ●学校奨励賞 大石田町立大石田小学校 朝日町立朝日中学校</p>
<p>全国 ●全国農業協同組合中央会会長賞 後藤 天羽(最上町) ●優秀賞 吉田 ゆい(米沢市)</p>	<p>全国 ●農林水産大臣賞 松浦蒼一郎(庄内町) ●優秀賞 門脇 陽希(大蔵村) 後藤 芽衣(河北町) 森村 春輝(山形市) ●学校奨励賞 庄内町立余目第一小学校</p>	<p>全国 ●優秀賞 小野寺涼太(鶴岡市)</p>	<p>全国 ●優秀賞 伊藤 風牙(鶴岡市) 井上 瑞貴(米沢市) 松藻 大吾(米沢市)</p>	<p>全国 ●文部科学大臣賞 小林 千紗(高畠町) ●優秀賞 五十嵐まりあ(山形市) ●学校奨励賞 高畠町立第二中学校</p>	<p>全国 ●文部科学大臣賞 瀬川 隼矢(庄内町) ●農林水産大臣賞 石森 泉(鶴岡市) ●学校奨励賞 庄内町立余目第四小学校 鶴岡市立鶴岡第四中学校</p>
<p>山形県 ●県知事賞 熊谷飛悠吾(尾花沢市) 伊藤 拓磨(尾花沢市) 鎌田 龍也(山辺町) ●県中央会会長賞 金内 大和(鶴岡市) 伊藤 未希(尾花沢市) 工藤 千慧(山形市) ●優秀賞 石山 竜成(最上町) 松田 紗和(鶴岡市) 高橋 晴(最上町) 星 七菜子(新庄市) 笠原 未羽(最上町) 柴崎 大和(尾花沢市) 齋藤 詩歩(鶴岡市) 原田 麗(尾花沢市) 大江 誓羅(尾花沢市) 稲村 大和(大蔵村) 田中 未咲(山形市) 石澤 元乾(山辺町) 田辺 理紗(飯豊町) 中島 彩(山形市) 佐藤 龍心(鶴岡市) ●学校奨励賞 尾花沢市立鶴子小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 三嶋 優(尾花沢市) 佐藤ひより(山形市) ●県中央会会長賞 鈴木 佑奈(大石田町) 遠藤 陸冬(尾花沢市) ●優秀賞 星川 葵(尾花沢市) 原田 結奈(尾花沢市) 星川 椿(尾花沢市) 矢作 結苺(尾花沢市) 富樫 智花(山形市) 小野 慈和(尾花沢市) 今野 泰成(尾花沢市) 五十嵐雄汰(鶴岡市) 佐藤 夏都(鶴岡市) 菅藤 心菜(尾花沢市) ●学校奨励賞 尾花沢市立福原小学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 阿部 大翔(尾花沢市) 二瓶 寛太(山形市) 平間 杏奈(山形市) ●県中央会会長賞 江刺さくら(尾花沢市) 早坂 美羽(尾花沢市) 本澤 育実(山形市) ●優秀賞 五十嵐羽琉(鶴岡市) 堀江 星琉(尾花沢市) 笹原 月吹(尾花沢市) 佐藤 愛心(村山市) 佐藤 なお(鶴岡市) 渡辺 成美(尾花沢市) 鈴木 来春(尾花沢市) 齋藤 亜子(尾花沢市) 菅藤 優成(尾花沢市) 佐藤 花玲(鶴岡市) 井上 楓(山形市) 山口 桃佳(山形市) 枝松 伶奈(山形市) 藤原 優衣(山形市) 齋藤 穂歌(山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校 山形市立第九中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 押切 零旺(尾花沢市) 渡辺 成美(尾花沢市) 高橋 綾香(山形市) ●県中央会会長賞 渡會 主悟(尾花沢市) 日下 和也(高畠町) 竹田夏奈子(山形市) ●優秀賞 三浦 匠悟(尾花沢市) 小林 由侑(尾花沢市) 伊藤 拓磨(尾花沢市) 西尾 真央(尾花沢市) 叶野 空和(鶴岡市) 長永 千佳(庄内町) 吉田京次郎(山形市) 柴田 唯斗(天童市) 砂田 千夢(鶴岡市) 東海林玲奈(尾花沢市) 平間 杏奈(山形市) 秋葉ひなの(山形市) 渡邊 美佑(山形市) 平吹 百恵(山形市) 鎌田美乃里(山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立福原中部小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 斎藤 匠(東根市) 溝越 真輝(尾花沢市) 大滝 日菜(山形市) ●県中央会会長賞 星川 悠人(尾花沢市) 小幡 あみ(尾花沢市) 半田さつき(山形市) ●優秀賞 越前 快斗(尾花沢市) 尾崎 李果(尾花沢市) 笹原 優極(尾花沢市) 叶野 空和(鶴岡市) 宇田 竜健(庄内町) 東海林玲奈(尾花沢市) 本間 海成(尾花沢市) 小幡 圭佑(尾花沢市) 三浦 幸司(尾花沢市) 佐藤 俊貴(鶴岡市) 進藤 円(山形市) 梅木 泉美(山形市) 高橋 真優(山形市) 横沢 美玖(山形市) 齋藤 光(南陽市) ●学校奨励賞 尾花沢市立福原中部小学校 山形市立第九中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 柴崎 真人(最上町) 森谷 康平(山形市) 原田 拓夢(山形市) ●県中央会会長賞 加賀 悠大(鶴岡市) 小幡 圭佑(尾花沢市) 荒井瑛絵子(山形市) ●優秀賞 高橋 龍馬(大石田町) 鈴木 来春(尾花沢市) 笹原 実莉(尾花沢市) 五十嵐一樹(尾花沢市) 西塚 優太(尾花沢市) 星 竜成(米沢市) 佐藤 一貴(天童市) 五十嵐友寿(鶴岡市) 佐藤 俊貴(鶴岡市) 押野 尚道(鶴岡市) 大滝 日菜(山形市) 高橋 里沙(山形市) 吉田 心(山形市) 遠藤 千央(山形市) 鈴木 里奈(山形市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝陽第二小学校 山形市立金井中学校</p>
<p>全国 ●優秀賞 平間 杏奈(山形市)</p>	<p>全国 ●農林水産大臣賞 志田 葉月(山形市) ●学校奨励賞 山形市立第九中学校</p>	<p>全国 ●優秀賞 半田さつき(山形市)</p>	<p>全国 ●農林水産大臣賞 志田 葉月(山形市) ●学校奨励賞 山形市立第九中学校</p>	<p>全国 ●農林水産大臣賞 西田 知世(山形市) ●学校奨励賞 山形市立第九中学校</p>	

第40回

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール審査経過の概要

■応募数

作文：467点
 図画：768点 合計 1,235点

区分	1部	2部	3部	計
作文部門	122点	167点	178点	467点
図画部門	353点	370点	45点	768点

■審査

- (1) 県予選審査期日
 作文部門 平成27年10月22日(木)
 図画部門 平成27年10月27日(火)
- (2) 全国コンクール審査期日
 期日：平成27年11月28日(金)
- (3) 県コンクール審査期日
 期日：平成27年 1月18日(月)
 (作文・図画部門合同で開催)

■審査委員

【県コンクール】

作文部門 (5名)

審査委員長 青柳由起子 (天童市立山口小学校 校長)
 高木 光紀 (山形市立第七中学校 教頭)
 石澤 友章 (山形市立滝山小学校 主幹教諭)
 沼澤理恵子 (南陽市立沖郷小学校 教諭)
 櫻井 真理 (東根市立大富中学校 教諭)

図画部門 (3名)

審査委員長 元木 正史 (東根市立東根小学校 校長)
 原田 寧 (天童市立第四中学校 校長)
 大内 孔司 (山形市立南小学校 教諭)

■審査結果

- (1) 全国コンクール (県内入賞者 (校) 数)
 ・全国農業協同組合中央会会長賞 作文部門1名
 ・優 秀 賞 作文部門1名
- (2) 県コンクール
 ・山形県知事賞 作文部門3名/図画部門3名
 ・山形県農業協同組合中央会会長賞
 作文部門3名/図画部門3名
 ・優 秀 賞 作文部門15名/図画部門15名
 ・学 校 奨 励 賞 作文部門2校/図画部門2校

■表彰式

期日：平成28年2月7日(日)
 会場：山形市「山形国際ホテル」

年 度	部 門	1 部	2 部	3 部	合 計
10 (第23回)	作文 図画	75 907	137 594	117 47	329 1,548
11 (第24回)	作文 図画	108 869	195 450	108 26	411 1,345
12 (第25回)	作文 図画	65 495	122 311	112 9	299 815
13 (第26回)	作文 図画	45 731	143 408	91 16	279 1,155
14 (第27回)	作文 図画	91 688	98 417	132 23	321 1,128
15 (第28回)	作文 図画	87 771	82 589	189 30	358 1,390
16 (第29回)	作文 図画	50 449	157 468	129 29	336 946
17 (第30回)	作文 図画	67 523	87 496	156 37	310 1,056
18 (第31回)	作文 図画	33 429	217 499	227 29	477 957
19 (第32回)	作文 図画	44 488	117 418	225 27	386 933
20 (第33回)	作文 図画	58 550	84 412	231 27	373 989
21 (第34回)	作文 図画	77 521	95 376	235 26	407 923
22 (第35回)	作文 図画	68 531	151 308	196 67	415 906
23 (第36回)	作文 図画	56 531	66 290	266 32	388 853
24 (第37回)	作文 図画	51 424	61 309	211 36	323 769
25 (第38回)	作文 図画	56 450	83 372	150 19	289 841
26 (第39回)	作文 図画	95 353	134 382	150 19	379 754
27 (第40回)	作文 図画	122 353	167 370	178 45	467 768

◆第40回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール募集要領◆

1. 趣 旨

本コンクールは、J Aグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、これからの食・農・地域を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食、稲作など、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業全般についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することを通じて、お米・ごはん食・日本食の重要性を広く周知することを目的として実施する。

2. 課 題 (作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食についての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

3. 応募資格

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。
特別支援学校の小学部、中学部。

4. 応募規格 (枚数・大きさ)

【作文部門】

- 1部 小学校1年生～3年生 (400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内)
- 2部 小学校4年生～6年生 (400字詰め原稿用紙3枚以内)
- 3部 中学校1年生～3年生 (400字詰め原稿用紙4枚以内)

(注)作文用紙1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出してください。

(注)本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募票の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。

【図画部門】

- 1部 小学校1年生～3年生
 - 2部 小学校4年生～6年生
 - 3部 中学校1年生～3年生
- B3判、もしくは四つ切りの市販画用紙を使用。画材はとくに制限しません。

5. 応募規則

- (1) 課題にそった作品を対象とします。
- (2) 他のコンテストに応募していない作品に限ります。
- (3) ひとりで1部門に2点以上の応募はできません。2点以上応募の場合は、2点とも審査対象外となる場合があります。
- (4) 図画作品でポスター形式(標語・キャッチフレーズ文字の入ったもの)のものは応募できません。
- (5) 学校で応募の際は、別添の推薦名簿(作文部門6ページ、図画部門7ページ)を切り取りもしくはコピーしたうえで記入し、必ず添付してください。コピーする場合は、必ずA4サイズでコピーしてください。
- (6) 作品には、1点ごとに次の事項を記入した応募票(5ページ)をつけてください。つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。①作品の題名②氏名・性別③学校名・学年・組④学校の所在地(郵便番号・電話番号)⑤本人の住所(郵便番号・電話番号)⑥JA(農業協同組合)名
- (7) 全国コンクールの大臣賞および全国農業協同組合中央会長賞入賞作品は平成28年2月に返却予定です。なお、作品の著作権は全国農業協同組合中央会および山形県農業協同組合中央会に帰属します。山形県コンクールの山形県知事賞および山形県農業協同組合中央会会長賞受賞作品は、協同の杜「JA 研修所」に1年展示後、平成29年2月上旬に返却予定です。
- (8) 本コンクールの作品応募に際して提供された個人情報は、承諾なく第三者に提供しません。ただし、入賞者については入賞発表や表彰式などのほか、広報媒体への露出や作品展示などの広報活動で公表する場合があります。

6. 締切日

平成27年9月30日(水) ※必着

7. 全国段階との関連

- (1) 県段階で予選審査を行い、各部門各部門ごとに数点を全国コンクールに推薦します。
- (2) 全国コンクール入賞作品以外(優秀賞除く)の作品を対象に、山形県コンクール審査を行い、山形県段階の入賞作品を決定します。

8. 審査員

【全国コンクール】

- | | |
|-------|--|
| 審査委員長 | 中村 靖彦 氏(東京農業大学客員教授、農政ジャーナリスト) |
| 作文部門 | 竹村 和子 氏((公社)全国学校図書館協議会常務理事)
真鍋 和子 氏((社)日本児童文学者協会理事、
日本大学芸術学部 講師)
森田 盛行 氏((公社)全国学校図書館協議会理事長)
中川 李枝子 氏(児童文学作家) |

- | | |
|------|---|
| 図画部門 | 西巻 茅子 氏(絵本作家)
小柳津 須看枝 氏(日本美術家連盟会員、サロン・ド・トウキョー運営委員)
岡村 泰成 氏(美術家集団「Moss Spirits」代表、日本美術家連盟会員)
中馬 誠二 氏(季風会同人) |
|------|---|

【山形県コンクール】

小・中学校教員(作文部門5名、図画部門3名)

9. 賞

【全国コンクール】

- (1) 内閣総理大臣賞 作文・図画部門各1名——計2名
賞状と副賞(記念盾およびお米券、記念品)
- (2) 文部科学大臣賞 各部門各部門ごとに1名——計6名
賞状と副賞(お米券および記念品)
- (3) 農林水産大臣賞 各部門各部門ごとに1名——計6名
賞状と副賞(お米券および記念品)
- (4) 全国農業協同組合中央会会長賞
各部門各部門ごとに1名——計6名
賞状と副賞(お米券および記念品)
- (5) 優 秀 賞 各部門各部門ごとに15名——計90名
賞状と副賞(記念品)
- (6) 学 校 奨 励 賞 内閣総理大臣・文部科学大臣・農林水産大臣
各賞受賞者所属校——計14校
賞状

【山形県コンクール】

- (1) 山形県知事賞 各部門各部門ごとに1名——計6名
賞状と副賞
- (2) 山形県農業協同組合中央会会長賞
各部門各部門ごとに1名——計6名
賞状と副賞
- (3) 優 秀 賞 各部門各部門ごとに5名——計30名
賞状と副賞
- (4) 学 校 奨 励 賞 各部門各部門ごとに1校——計4校
賞状と副賞

10. 入賞発表・表彰式 (作文・図画両部門共通)

【全国コンクール】

- (1) 入賞発表 平成27年12月9日(水)
- (2) 表 彰 式 平成27年1月15日(金)
(入賞校、入賞者宛通知します。)

【山形県コンクール】

- (1) 入賞発表 平成28年1月下旬(予定)
- (2) 表 彰 式 平成28年2月下旬(予定)
(入賞校、入賞者宛通知します。)

11. 主 催

農業協同組合/都道府県農業協同組合中央会/全国農業協同組合中央会

12. 受付窓口および問合せ先

- (1) 県内の各JAを受付窓口とします。
- (2) 県段階は次にお問い合わせください。

〒990-0042

山形市七日町三丁目1番16号

山形県農業協同組合中央会 (JA山形中央会)

農業農政部「作文・図画コンクール係」

担当: 山口 坂部 まで

TEL: 023-634-8114 FAX: 023-633-1754

作文1部

●全国農業協同組合
中央会会長賞●

おにぎりは ばばのあじ

最上町立大堀小学校1年

後藤 天羽 さん

「おにぎりは ばばのあじ」
 おおほりしゅう ーねん ぶとう あけは
 ーばばー、しおおにぎりにつく、てー
 ぼくは、がっこうからかえ、ておなかがすく
 と、おばあちゃんにおながいします。
 とはい、できたよー
 と、おばあちゃんがつく、てくれるおにぎりに
 ば、おおほりしゅう、のりてくるりとまいてあ
 て、ちようじいしゅう、ぼくで、さいこうに
 おいしいです。おかあさんも、おなごように
 つく、てくれるけど、このしおおにぎりにだけ
 は、おばあちゃんのはうがなんばいもおいし
 いです。ぼくは、おにいちやんたちと、
 ーなんでなんだるうねー
 と、はなしをくしました。そして、三じんでき
 ーきました。
 ーわか、たーと、ばばのてからおいし
 のものがにいみでてくるんだ、おかあさん
 のてには、まだそれがないんだよ！
 おばあちゃんとおかあさんに、そのはなしを

したう、おばあちゃんとは、てもうれしくそ
 ーした。そして、おかあさんは、こくや
 ーうにじながう、
 ーそれだけ、て、おりのあわないんだね。
 おかあさんもちいさいとき、おなごように
 と、てもおいしか、たなし
 と、はなしでくれました。そして、そんなお
 しいおにぎりがたべられるのは、たんぼを
 たいせつにまもり、いっしょうけんめいおし
 ーことをかんが、てくれるおにいちやんのおか
 おなかがすいたとき、おしえてくれました。
 べられるのは、てもしあわせなことなんだ
 ということも、人がつ六にちのせんそうがあ
 ったひにおはなししてくれました。いろん
 はなしをきいて、ぼくはこてもしあわせもの
 なんばあさんと、すくおもいました。おにぎ
 りは、かんしゅうのあじでもあるんだとおそ
 ーました。ばば、またつく、てね。

